

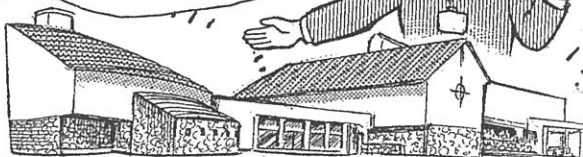
書庫と保存のひみつ

長野県立歴史館には2つの書庫があります

書庫とは書物や文書を保管するための建物や部屋のことを言っていますよ

どんな違いがあるんですか？

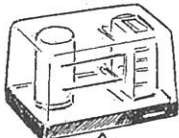
2つもあるの？



古文書書庫は古典籍や絵地図、古文書などを収蔵しています

行政文書書庫は、県民共有の知的資源となる明治から令和にわたる歴史公文書や県報などの行政資料を中心に収めています

温湿度記録計 シグマII



2つの書庫内の設定温度は、夏が24℃、冬が20℃。湿度は、1年中55%になるよう中央監視室で管理しています

2つの書庫は長野県立歴史館の1階の奥の方にあるんですよ



特別収蔵庫

長野県立歴史館にある貴重な重要文化財などの多くを保管しています

古文書書庫

収蔵数 28万点超 (面積 583m²)

行政文書書庫

収蔵数 10万点超 (面積 592m²)

書庫内は人の出入りによる温度・湿度の変化を最小限に抑えるため立ち入りを担当者に限定し、書庫に入る際には

静電気防止スリッパを着用しています

史料の形状により様々な封筒に入れます

文書等の保存については劣化を遅らせるために必要に応じて中性紙の保存箱・封筒を使って収納しています

紙の史料などの保存にとって水をかぶることは大敵。万が一火事が起きたら

ハロゲン化物(ハロン1301)というガスで消火します

古文書書庫は天井、壁、床、棚が調湿に適した杉材で作られています



電動書棚

折りたたみ式文書保存箱

史料など

古文書

文書保存箱

香り！

書庫での保存って大切なんだね

